

			R1.12.1	130,170（外国人除く）									R1.12.17	
合計特殊出生率			2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	
			平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年	令和37年	令和42年	令和47年	
	H30社人研推計		131,606	130,389	127,437	123,302	118,498	113,860	109,535	105,189	100,233	94,473	88,287	
1.31	単純推計	案1	単純推計	131,606	130,554	127,807	123,866	119,258	114,821	110,702	106,559	101,807	96,253	90,278
	転出減	案2	単純推計+25-34歳までの転出超過が現行よりも2割低減されると仮定	131,606	130,675	128,073	124,305	119,873	115,569	111,560	107,523	102,869	97,408	91,522
	転入増	案3	25-34歳の社会移動が均衡になることにより全体として転入超過となるものと仮定	131,606	131,162	129,147	126,081	122,371	118,615	115,053	111,453	107,207	102,132	96,618
	転入転出	案4	案3ベース+10歳未満と60歳以上（60-84歳まで）の転入超過傾向が現行よりもプラス10%増加すると仮定	131,606	131,230	129,279	126,284	122,641	118,956	115,463	111,916	107,705	102,645	97,137
1.25	単純推計	案5	単純推計	131,606	130,358	127,432	123,317	118,510	113,855	109,514	105,143	100,149	94,337	88,086
	転出減	案6	単純推計+25-34歳までの転出超過が現行よりも2割低減されると仮定	131,606	130,479	127,697	123,753	119,119	114,595	110,360	106,090	101,189	95,465	89,296
	転入増	案7	25-34歳の社会移動が均衡になることにより全体として転入超過となるものと仮定	131,606	130,964	128,766	125,518	121,597	117,610	113,804	109,950	105,436	100,075	94,251
	転入転出	案8	案4ベース+10歳未満と60歳以上（60-84歳まで）の転入超過傾向が現行よりもプラス10%増加すると仮定	131,606	131,032	128,897	125,719	121,865	117,948	114,211	110,409	105,928	100,580	94,761
1.2	単純推計	案9	単純推計	131,606	130,194	127,119	122,860	117,887	113,054	108,532	103,976	98,788	92,771	86,300
	転出減	案10	単純推計+25-34歳までの転出超過が現行よりも2割低減されると仮定	131,606	130,315	127,383	123,294	118,493	113,787	109,367	104,909	99,811	93,876	87,482
	転入増	案11	25-34歳の社会移動が均衡になることにより全体として転入超過となるものと仮定	131,606	130,799	128,447	125,048	120,952	116,776	112,771	108,712	103,982	98,392	92,323
	転入転出	案12	案4ベース+10歳未満と60歳以上（60-84歳まで）の転入超過傾向が現行よりもプラス10%増加すると仮定	131,606	130,866	128,578	125,249	121,219	117,112	113,175	109,166	104,469	98,891	92,825

将来目標人口増加を目指す上での取り組み

【転入を増やすため、また、合計特殊出生率を引き上げるためには…】

- ・引き続き、保育園の待機児童ゼロを堅持しつつ、PR活動を行い、若い世代の転入増につなげる。
転入してきた若い世代の方が、保育園に預けられるなど、安心して子育てできる環境づくりをする。
- ・今、住んでいる人にも我孫子の子育て施策をPRし、自分の子どもが子どもを産んで保育園に預けたいときに、我孫子であれば預けられることを教えてもらい、Uターンしてもらう。
- ・介護等が必要になっても、住みなれた我孫子にいられること、また、自分の親を我孫子に呼べるような取り組みをする。（例：特別養護老人ホームの整備など）
- ・親や親せきがいるところに転入してくるのであれば、その親や親せきに我孫子市のPRを積極的に行う。

【転出を抑えるためには…】

- ・就職や学校の関係で、一度、市外に転出しても、ふるさと我孫子に戻ってきたいと思ってもらえるよう、子どもたちに我孫子の良さを知ってもらう。
- ・小学校入学を機に、転出する家庭もあることから、教育の充実を図る。
- ・子育てしながらでも身近な場所で働けるよう、雇用の場を創出する。
具体的には、企業立地に向けた新たな土地利用やシェアオフィスの検討を進める。
- ・大学と企業、大学と行政が連携し、我孫子市内で働けるような施策を検討する。
- ・目玉になる施設の整備（スケボー、自転車などの施設）
- ・一定の年数以上住んでいる若い世代に助成金を。

将来目標人口(案)

	令和元年12月1日現在	令和2年	令和3年	1年目 令和4年	2年目 令和5年	3年目 令和6年	4年目 令和7年	5年目 令和8年	6年目 令和9年	7年目 令和10年	8年目 令和11年	9年目 令和12年	10年目 令和13年	11年目 令和14年	12年目 令和15年	13年目 令和16年	14年目 令和17年	15年目 令和18年	16年目 令和19年	17年目 令和20年	18年目 令和21年	19年目 令和22年
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	
130,170人(外国人2,076人を含まない)	130,479	129,923	129,366	128,810	128,253	127,697	126,908	126,119	125,331	124,542	124,003	122,827	121,900	120,973	120,046	119,119	118,214	117,309	116,405	115,500	114,595	
	130,964	130,524	130,085	129,645	129,205	128,766	128,116	127,466	126,817	126,167	125,767	124,733	123,949	123,165	122,381	121,597	120,799	120,002	119,204	118,407	117,610	
さらに、外国人2,000人を加える	2,000	131,923	131,366	130,810	130,253	129,697	128,908	128,119	127,331	126,542	126,003	124,827	123,900	122,973	122,046	121,119	120,214	119,309	118,405	117,500	116,595	
※ここ数年、外国人はおおむね2,000人で推移しているため、今後も均衡することを想定		132,524	132,085	131,645	131,205	130,766	130,116	129,466	128,817	128,167	127,767	126,733	125,949	125,165	124,381	123,597	122,799	122,002	121,204	120,407	119,610	

◆ 合計特殊出生率は、転入・転出増加策に取り組み、1.25とする。

◆ 25-34歳までの転出超過が現行よりも2割低減されると仮定

さらに、おおむね2,000人で推移している外国人を加える

➡ 123,000人